

花 椰 菜 の 品 種 適 応 性

秋 谷 良 三・綿 原 孝 夫

九 州 農 業 試 験 場

AKIYA, R. & WATAHARA T. Adaptation of Cauliflower Varieties

緒 言

近年需要の向上につれて、年々増加の傾向を辿る花

椰菜は従来習慣的に高級品として取扱われてきた結果栽培も少く、従つて品種分化も十分行われていない。将来甘藍と同様周年供給の面から、生態育種や栽培時

花 椰 菜 の 品 種 適 應 性 (次頁へ続く)

群	代 表 品 種	類 似 品 種	收 穫 期
東 亞 亞 熱 帯 群	パトナアーリー(印) 台 湾 早 生(台)	支那種, 台南種, 台農一号	10月~11.上
四 季 群	野 山 本 四 崎 季	安岡早生, 天草一号, 増田早生, 改良極早生	11 月
	All seasons (T)	Wonder of four season (T). Lecerf (佛. T) all the year round (英).	11.下~12.中
	Malmaison (佛)	Amerior'e d' original (佛). Mission special (英). white Queen.	12~2月中
エ ル フ ル ト 群	Pioneer (T)	Copenhargen market (T). Salandia original (T)	11 月
	Snowball (英)	Early Snowball (英). Snowball A.M.Y. (米). Improved Snowball (英). Super snowball (T). Early London white (英).	11月~12月
	d' Erfurt (佛)	Six week (T). Stera nova (T). Flecon blanc(佛). Alpha (T). Snow drift. Harbinger (英). Holland Erfurt (和). S's Purity (英).	12 月
ミ ッ チ エ ル マ ス ホ ソ イ ト 群	Algier	花椰菜二号 Sutton Dwarf Monarch (英)	12.下~1.
	Michaelmas white (英)	増田中生 (交配種), 房州種.	12.中~1.
ブ ロ ッ コ リ ー 群	Autum giant (英)	January (米). Feburary (米). Cossa (米). Autumn Protecting (英). 増田晩生. Vietchs Self Protecting (英). Long stander (英). Late Peal (英). Early Giant Italian. Late Giant Italian.	2.下~4.上
	March Early (米)	April Hybrid (米).	4 月
	Satis faction(英)	Penzence (英). Snow winter white (英). White suntiede (英). Sandring ham. Winter white (英).	3.上~4月

花 椰 菜 の 品 種 適 應 性 (前頁へ続く)

花 蕾 部						茎 葉 部			耐病性	適 應 性
大 小	形 状	叢	色	花 軸	品 質	草 姿	葉 形	葉 数		
小	平～扇型	粗 い	黄	細 長	うすく 下	立 低	細長平滑. 緑色	少	中	早 出 し 用
中大	扇 型	凹凸少く粗	淡黄白	細 長	うすく 中下	横披性 低	巾広で大皺あり 濃 緑 色	中	強	早生型としてこの 順化種, 品質 改善要す
中小		平 滑	白	細	上				弱	秋播用として有 望
小	扁 円	凹凸多密	乳 白	太く密	緻密上	立型中	広 長 皺 多 性 捲 曲 抱 被 性	中	中	品 質 優 良
中大	高扁円			太く短く 密	中	立型 低	尖葉で小型	多	弱	ピツクル用とし て有望
小	扁 円	凹凸少 密	白	太く短く 密	中	立型 中	広長で皺多く 捲曲抱被性			しまり特に良い が耐病性の改良 を要する
中						立型 高	杓子型で皺少い 広大葉皺多い 広大尖葉で皺あり 海青色	少	中	中生型として適 種品質の改善
中小	扁 円	粗	淡 黄	長 太	寒 害 下	立 型 高	細 長 欠 刻 皺 大 き い 海 青 色	少	中	晩生型として耐 寒性強く栽培容 易
中	高扁円				中				中	
大	高扁円	凹凸多い 密	淡黄白	太くて短く やや密	中上	横 披 高	細 長 欠 刻 皺 大 き い 海 青 色	中	強	晩生型として耐 寒性強く栽培容 易
中小	円	凹凸あり 平 滑	純 白	やや太 密	上	横 披 中	広 長 皺 あり 抱 被 性	多	中	極 晩 出 用
大小	円～ 高扁円	やや平滑	黄 白	太く長 やや粗	中下	横 披 高	広大で葉柄あり 欠刻皺大きい		強	

期の研究を進め、適期適品種の活用により、より容易に周年出荷の目標に到達しなければならない。本調査は我国の馴化種及び導入品種を蒐集して、この特性調査にもとづいて暖地における品種適応性を考察し、併せて今後の育種材料の資に供せんとするものである。

品 種 の 分 類

この試験は、昭和27・28年度において外国導入種及び本邦の育成種90余品種を夏播栽培（早生7月20日

中晩生7月30日播）して、その特性を調べ類縁関係によつて5群に大別し、花蕾、莖葉部の性状から表の如く分類した。

この表で晩生群に属する花椰菜は草丈高く、越年性であるので一括ブロッコリー（木立花椰菜）の中に包含したが、これらの区別は外国でも異説があつて一定していない。またイタリアン・ブロッコリー（芽花椰菜）は、特性著しく異なるので本表中から除外した。

分類上、花蕾の形状は重要な形質と考えられるので、

この横断面の形状を平、扇、扁円、高扁円及び円形の5型に分けた。これと早晩生との関係をみるに早生種は平形または扇形で、晩生種は概して高扁円または円形に近い形状を呈する。品質を左右する形質として花軸の粗密、花蕾のしまり、花蕾叢の凹凸や粒状組成の粗滑などがある。本邦に馴化した品種は概して花蕾叢うすく、しまりが柔軟で粒状組成もあらく品質は良くない。

莖葉部では草姿や莖葉の特性に基づいて類縁関係を探索し、特に葉については形状、大小、皺、欠刻及び色などについて9型に分けた。

耐病性については一般に早生種は弱く、晩生種は強い傾向が認められ、また米国や地中海沿岸の寡雨地帯産の品種は、耐病性に欠けて我国のような過湿の気候下には適生しにくい。

適 応 性

(1) 東亜亜熱帯群

10月～11月上旬に収穫。主として印度、南支、台湾などの亜熱帯に土着した品種群であり、またハワイ、北米南部、地中海沿岸にも分布がみられる。

この群は比較的耐暑性があり、低温感応度は敏感で従つて早播、早出し用に利用するが花蕾叢うすく、緊密度に欠け品質は良くない。

(2) 四 季 群

11月～1・2月に収穫、その収穫期の中は比較的広く、また秋播き用としても利用出来る品種を包含する。この群は葉の形状、草姿等極めて類似するが早晩性、耐病性、品質の良否について3系に分けた。

この中、野崎種は我国の気候風土に最も早く馴化適生したか花蕾叢うすく緊りも柔軟で質的には優良とはいえない。野崎種は Snowball より育成されたものと

されているが、本調査ではむしろ All Seasons 種に近縁したものと考えられる。

All Seasons 種は、この群中花蕾叢はよく緊り、純白色で品質は優れているが耐病性に弱い。

(3) エルフルト群

11月～12月に収穫される早生種、品種分化は進んでいるが、我国には未だ馴化したものはない。本群は花蕾叢白く緊密で品質はよいが耐病性に弱い。Pioneer 系はデンマークで改良され、収穫期は野崎と略同時期で、花蕾叢はよく発達して球状となり、品質すぐれ将来本邦の早生種として適生化をはかる必要がある。

(4) ミツケルマスホワイト群

12月～1月の冬季間収穫出来る中生種である。花蕾の形状は扁円乃至高扁円形を呈し粒状あらく品種は良くない。本邦に適生する有望種は、古く導入された Michaelmas white 及び同系統の増田中生であり、耐病性も強いので今後はこれらの品質改善を考慮する必要がある。

(5) ブロツコリー群

2月下旬～4月の春採用として越冬栽培を行うので生育旺盛耐寒性にとみ莖葉・花蕾共に大きく収量も多い。さらに反当千貫内外の外葉が飼料用として3、4月の飼料不足の候に供給出来ることは有畜化経営に寄与するものと期待される。花蕾は高扁円乃至円形で緻密であり品質も悪くない。

本邦で利用されるものは Autumn Giant 系のもので耐病性強く、質緻密で晩出し用として好適する。

March Early 系は花蕾純白、緻密で品質は良いが、耐病性に弱く Satisfaction 系の葉形は欠刻、皺多く葉柄が顕著で Italian Broccoli に近似する品種で品質は良くない。